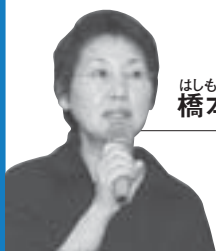




厚別区では、市政全般について意見交換をするタウントークとしたため、さまざまな角度から多くの意見が飛び交いました。市の施設の利用の在り方、環境美化・・・など、一つ一つの意見は説得力のあるものばかり。厚別の皆さんの地域に対する関心の高さがうかがえる、充実した2時間となりました。

会場では手話通訳が→
行われました。



はしもと
橋本さん

施設利用料の減免 廃止を見直して

手話を学び、障がい者に対する理解を深めるサークル活動を、区民センターなどを活用しながら行っています。そのため、使用料の減免制度の廃止を見直し、活動内容に配慮する運用を検討してほしいと思います。

市長から 区民センターの使用料の減免は、適用されるケースの割合が大きすぎることもあり、現行制度の維持は難しいと判断しました。ですが、そのことで団体が活動できなくなる場合などは、支援の必要性とどう調整していくか、皆さんと一緒に考えていかなければならないと思います。

清掃工場跡地を 植物園に

森林は地球温暖化を防止する効果があります。緑化の一環として、厚別清掃工場の跡地に植物園を造ることはできないでしょうか。

よしの
吉野さん

市長から 緑を増やすことは今取り組むべき重要な課題ですが、大きな施設を造ることは、財政的に難しい状況です。区のまちづくり協議会などで、工場跡地の今後について議論し、意見をまとめていただければと思います。

厚別区タウントークメモ

- 実施日/8月29日(月)
- 会場/厚別区民センター
(厚別区厚別中央1の5)
- 参加人数/約130人
- 発言者数/12人

内容は、市長のホームページ
www.city.sapporo.jp/city/mayor/
からもご覧いただけます。

ボランティアにも公的権限を与えて

町内の環境美化活動をしています。公園などでマナーを守らない方がいます。注意しても、「何の権限があって注意しているのか」と退けられてしまいます。市からの任命という形で、ボランティアに役割・権限を与えることはできないでしょうか。



こんどう
近藤さん

市長から 勇気を持って啓発活動をしていることに敬意を表します。市からの委嘱も含め、ボランティアの皆さんがもっと力を発揮できるような環境をどのようにつくっていくか、これから議論を深めていきたいと思っています。

利用者の協力で施設のコスト削減を

**みずの
水野さん** 区民センターのような施設は、利用しない方を含めた市民全体でコストを負担しています。そこで、私たち利用者が、後片付けだけでなく、清掃なども行うことで、少しでも運営のコストを軽減できればと思います。

施設のコスト負担の在り方について考えることは、これからますます必要になります。その一部を担おうとする気持ちは、大変ありがたいと思います。今後も、コストの負担を皆さんとともに考えながら、施設の利便性を高める努力もしていきたいですね。

市長
から

排ガスの規制が必要では

ディーゼルエンジン車の排ガスは、肺がんの原因の一つとして、全国的に問題となっています。東京などではすでに規制が行われていますが、札幌でも検討してほしいです。

ディーゼル車の排ガス濃度が、首都圏に比べ圧倒的に低いことから、現在市では規制していない状況です。しかし、大気の保全是当然必要な考え方。北海道全体からの視点を含めて、その必要性について調査していきたいと思っています。

とみおか
富岡さん

市長
から